



平成28年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年5月9日

上場会社名 株式会社ディー・エル・イー 上場取引所 東
 コード番号 3686 URL <http://www.dle.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 椎木 隆太
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO 兼 経営戦略統括本部長 (氏名) 川島 崇 (TEL) 03-3221-3980
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第3四半期の業績(平成27年7月1日～平成28年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第3四半期	2,389	75.3	185	△25.8	177	△31.3	116	△29.4
27年6月期第3四半期	1,363	1.9	250	0.6	258	13.1	164	△39.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年6月期第3四半期	6.94		6.41					
27年6月期第3四半期	9.97		9.09					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第3四半期	3,757	1,769	47.1
27年6月期	3,031	1,637	54.0

(参考) 自己資本 28年6月期第3四半期 1,768百万円 27年6月期 1,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年6月期	—	0.00	—		
28年6月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,919	44.6	233	△29.6	208	△38.3	139	△36.5	8.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年6月期3Q	16,774,200株	27年6月期	16,525,800株
28年6月期3Q	—株	27年6月期	—株
28年6月期3Q	16,735,526株	27年6月期3Q	16,499,640株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございますので、この業績予想に全面的に依拠しての投資等の判断を行うことは差し控えてください。なお、上記予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、底堅さのみられる個人消費に加え、輸出・生産の持ち直しにより企業部門に改善の兆しがみられるなど、緩やかな回復傾向が続いております。一方、米国の金融緩和策縮小による影響、欧州や中国をはじめとする新興国経済の先行きに対する懸念等、海外景気の下振れリスクとなっております。

当社を取り巻く環境においては、スマートフォンやタブレットPCなどのスマートデバイスの普及が世界規模で急速に拡大し、それに伴い、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、動画配信サイト、ソーシャルゲーム、コミュニケーションアプリなどの新たなサービスの利用も引き続き拡大しております。

そのような環境変化は、人々のライフスタイルを、スマートデバイス等を使い、最適メディアを選択し、必要なときに必要な時間だけコンテンツを消費し、SNS等を使って、即時に情報や感動を共有するといった、メディア接触方法の多様化、コンテンツ視聴の短時間化、情報共有のリアルタイム化へと世界規模で変化させ、「スキマ時間に楽しめるショートコンテンツ」といった新たな付加価値へのニーズを急速に拡大させてきました。

そして、インターネット動画配信等の新興メディアの興隆で競争が激化するメディア業界においては、オリジナルコンテンツによる差別化の重要性が増してきております。

このような事業環境の中、当社では、視聴者や消費者等の多様化し変化の早い嗜好や価値観、旬な時事ネタ等を捉え、適時に対応することを強みとする、ファスト・エンタテインメント事業を展開し、インターネット時代にマッチしたオリジナルコンテンツを量産してまいりました。また、オリジナルコンテンツの多様化の一環として、新たに実写映画プロデュースへの取り組みを開始いたしました。

また、前事業年度に取得した「TOKYO GIRLS COLLECTION」の商標権を積極的に展開し、ファッション・ビューティーに関する情報の発信源として日本のガールズカルチャーを世界に発信する取り組みをしてまいりました。

ソーシャル・コミュニケーション領域においては、IP（Intellectual Property：主にキャラクター等の著作権や商標権等の知的財産権）を開発・取得し、動画広告等のマーケティングサービス提供及びスマートフォン向けゲームアプリやメッセージングアプリ向けスタンプ等のデジタルコンテンツの企画開発・配信を行っております。

当第3四半期累計期間においては、IPの露出先の拡大や展開手法の多様化による、IP価値の成長に連動し、各サービスが順調に推移いたしました。今年10周年を迎える「秘密結社 鷹の爪」においては、伝説のイベント「ギヒルズナイト」の復活や、「鷹の爪団のSHIROZEME」の事業拡大、ナショナルクライアントとのコラボレーション企画など10周年施策の展開がスタートするとともに従来のアニメーション領域からの拡大をいたしました。また、「パンパカパンツ」においては、ナショナルクライアントへの全国プロモーションを拡大するとともに、全国83劇場において映画鑑賞のマナーをレクチャーする「マナームービー」を公開いたしました。さらに、「貝社員」においては、全国29局ネットで放送されている朝の情報エンタテインメント番組内で「朝だよ！貝社員」として放送されることが決定いたしました。そして、デジタルコンテンツにおいては話題沸騰中のTVアニメ「おそ松さん」初のスマートフォン向けゲームアプリ「おそ松さんのへそくりウォーズ～ニートの攻防～」などの配信を行い、3月末時点において累計170万ダウンロードを記録するなど、事業領域を急速に拡大いたしました。

「TOKYO GIRLS COLLECTION」においては、3月19日に開催された「第22回東京ガールズコレクション2016 SPRING/SUMMER」において、人気SNS上の生配信視聴者数が120万人超（前回比22%増）を記録しました。また、保有する「TOKYO GIRLS COLLECTION」の商標の利用許諾のもと、翌日に開催された都内最大級のガールズミュージックフェス「TOKYO GIRLS MUSIC FES. 2016 supported by Samantha Thavasa」においても生配信視聴者数が115万人超を記録するなど、“ビューティー”領域に続き“ミュージック”領域への事業領域の拡大を積極的に行いました。TGCブランドの積極展開及び越境EC事業等による中国市場への展開にかかる投資コストの負担等はあったものの更なるブランド価値向上に取り組みました。

IPクリエイション領域においては、IPの新規開発及び映画・TV・ネットメディア等の映像コンテンツの企画開発・制作及び総合的なプロデュースを展開しております。

当第3四半期累計期間においては、各IPのTVシリーズ・WEBシリーズの継続により認知度向上及び世界観醸成に努めるとともに新規事業領域である実写映画の公開等を行いました。特に「秘密結社 鷹の爪」においては人気SNS事業者が運営するライブ配信プラットフォームにて、最新シリーズ「秘密結社 鷹の爪GT」が配信されることが決定、「パンパカパンツ」においては、初のテレビアニメシリーズの全国放送を継続するなど順調に推移いたしました。また、新たに開始した実写映画プロデュースでは「珍遊記」が2月27日に劇場公開されるとともに台湾、香港、マカオ他世界8つの国と地域への販売が決定するなど、コンテンツの多様化にも取り組みました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は2,389,257千円（前年同四半期比75.3%増）、経常利益は177,536千円（前年同四半期比31.3%減）、四半期純利益は116,168千円（前年同四半期比29.4%減）となっております。

なお、当社は、ファスト・エンタテインメント事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較して725,352千円増加し、3,757,344千円となりました。これは現金及び預金175,964千円の減少があったものの、受取手形及び売掛金259,909千円、仕掛品254,309千円及び投資その他の資産のうち、出資金375,995千円の増加を主要因とするものであります。

（負債）

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して593,566千円増加し、1,988,193千円となりました。これは前事業年度に取得した「TOKYO GIRLS COLLECTION」の商標権等の支払により流動負債のその他560,923千円の減少、未払法人税等42,503千円の減少があったものの、当該商標取得及び運転資金の調達に伴う1年内返済予定の長期借入金232,132千円、長期借入金807,568千円の増加を主要因とするものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計額は、前事業年度末と比較して131,786千円増加し1,769,151千円となりました。これは四半期純利益116,168千円の計上、新株発行に伴う資本金及び資本剰余金の増加15,300千円及び新株予約権の増加318千円を主要因とするものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月期の業績予想につきましては、概ね当初の見込みどおりに推移しており、平成27年11月13日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	548,155	372,190
受取手形及び売掛金	960,809	1,220,718
商品	20,139	31,189
仕掛品	143,585	397,895
その他	141,424	114,512
流動資産合計	1,814,114	2,136,506
固定資産		
有形固定資産	12,806	27,455
無形固定資産		
商標権	752,044	695,167
その他	21,692	37,074
無形固定資産合計	773,736	732,242
投資その他の資産		
出資金	315,309	691,304
その他	116,023	169,834
投資その他の資産合計	431,333	861,139
固定資産合計	1,217,876	1,620,837
資産合計	3,031,991	3,757,344
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,108	423,401
1年内返済予定の長期借入金	44,328	276,460
未払法人税等	67,684	25,181
その他	977,999	417,076
流動負債合計	1,356,121	1,142,119
固定負債		
長期借入金	38,506	846,074
固定負債合計	38,506	846,074
負債合計	1,394,627	1,988,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	743,485	751,225
資本剰余金	520,985	528,545
利益剰余金	372,894	489,062
株主資本合計	1,637,364	1,768,832
新株予約権	—	318
純資産合計	1,637,364	1,769,151
負債純資産合計	3,031,991	3,757,344

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
売上高	1,363,171	2,389,257
売上原価	640,287	1,647,133
売上総利益	722,884	742,123
販売費及び一般管理費	472,512	556,453
営業利益	250,371	185,670
営業外収益		
受取利息	168	89
為替差益	9,704	—
その他	77	365
営業外収益合計	9,950	454
営業外費用		
支払利息	955	2,529
為替差損	—	5,055
株式交付費	824	1,004
営業外費用合計	1,780	8,588
経常利益	258,541	177,536
税引前四半期純利益	258,541	177,536
法人税、住民税及び事業税	49,843	57,423
法人税等調整額	44,176	3,944
法人税等合計	94,019	61,368
四半期純利益	164,522	116,168

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ファスト・エンタテインメント事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。